

	2016 年 10 月 茨城学習センターだより 第 69 号
	もくじ 巻頭言…………… 1 平成 28 年度第 1 学期卒業生…………… 2 卒業生からのメッセージ…………… 3 学習奨励賞表彰…………… 4 平成 28 年度第 2 学期入学者の集い…………… 5 サークル紹介…………… 6・7・8 茨城学習センター活動報告…………… 8 ご案内…………… 9 事務室からのお知らせ…………… 10 視聴学習・図書室からのお知らせ…………… 11 今後のスケジュール…………… 12

発行 放送大学茨城学習センター

〒310-0056 茨城県水戸市文京2-1-1（茨城大学構内）

TEL：029-228-0683 FAX：029-228-0685

「他者を知り、己を知る」

放送大学茨城学習センター客員教授
茨城キリスト教大学文学部教授

高橋 教雄



某地方自治体から「2020 年東京オリンピックに向け、外国人観光客と交流するための英語学習」をテーマとする市民大学講座の依頼を受け、改めて何故英語学習が求められるのかを考え直す機会を与えられました。

近代日本の歴史を振り返ってみると、ある一時期を除き、英語学習は学校教育の場で大きな部分を占めてきました。特に近年は小学校（高学年）における外国語学習（実態は英語）の導入に始まり、まもなく教科化される予定になっています。とりわけコミュニケーション能力の強化が求められています。半世紀ほど昔に比べると、実際に英語を使いこなしている日本人が増えているのは事実ですが、いまだに＜英語は難しい・分からない＞と感じている人が多いのもまた事実です。その大きな原因（のひとつ）は、英語教育に割かれる時間の大半が、英語を文字や音の集まりとみなし、しかも不十分なままそれを教え込もうとすることに費やされているところにあるのではないのでしょうか。真に言語を理解するためには、その言語が使われている社会の文化を理解すること、その言語を使用している人々を理解しようとする姿勢が不可欠です。

東京オリンピック招致のプレゼンテーションで話題になったのが「おもてなし」の心であったのは記憶に新しいところです。「おもてなし」はよく“hospitality”という英語にも置き換えられていますが、その根底には＜相手を理解し、相手の立場を尊重する＞気持ち、＜思いやりの気持ち＞がなければいけません。すなわち、単に日本的なものを提供するところにとどまるものではないはずです。この根底にあるものが、とりわけ外国語学習にとっては不可欠の、そして極めて重要なカギになるものです。

リオオリンピック閉会式でのドラえもんや安倍マリオの登場は、真に日本を表すものかどうか、その良し悪しはともかく、＜分かりやすい日本＞を提示したという意味では、他国の人々に理解してほしい、親しみを持ってもらいたいという気持ちを表すものとして、評価してよいのではないかと考えています。

外国語を学ぶ際、単に表層的な学習に止まらず、その学習を通して他者・他文化を知り、他者・他文化との対関係において自己・自文化をさらに深く知ることにつなげ、人生における大きな＜発見の喜び＞を、一人でも多くの方々にも味わっていただきたいと考えています。

平成28年度第1学期卒業生

ご卒業おめでとうございます

平成28年9月、茨城学習センターから教養学部24名の方がご卒業され、10月1日(土)に「学位記授与式」が挙行されました。心よりお祝い申し上げます。「学位記授与式」では、学位記授与、横沢所長式辞、客員教授並びに来賓紹介に続き、学位記授与者代表の、人間と文化コース鈴木愛望様から謝辞が述べられました。

教養学部

大学院修了生は該当なし

【生活と福祉コース】	5名
【心理と教育コース】	7名
【社会と産業コース】	4名
【人間と文化コース】	4名
【情報コース】	1名
【自然と環境コース】	3名



卒業生代表挨拶

「学ぶのは楽しみ」

【人間と文化コース】 鈴木 愛望

夢のようだった卒業が、今、現実のものとして迎えられることに大きな喜びを感じています。もう一度学ぶ楽しさを感じたい、何でも知りたい、その思いを叶えたくて放送大学に入学しました。

豊富な科目の中から、以前から興味があった文学、歴史、芸術などを中心に幅広く、深く学びました。沢山の専門用語や馴染みのない思考法・発想を理解する為に、根気強くテキストを読み込んだり、授業を繰り返し視聴したり、関係する情報を調べたりしてそれらを吸収できるように努めました。そして、この過程すべてが学びであると気づき、いつの間にか学びが楽しいと感じるようになっていました。

私が学んだことは必ず多くの人の力になるよう活かしていきたいです。また、学ぶのはこんなに楽しいと伝えたいです。私の学びを支えてくれた家族、先生方、学ぶ仲間へ深く感謝しています。

放送大学が、これからも素晴らしい学びの場であり続けられるよう祈っております。ありがとうございました。



【平成28年度第1学期卒業生の皆さん】



【卒業生代表 鈴木 愛望さん】

卒業生からのメッセージ

卒業を迎えて

【人間と文化コース】 松川 誠

放送大学の入学に必要な高専の卒業証書が、岡山の実家から届かない！…そうです、私が入学手続きをしていたのはあの大震災の直後でした。このたび卒業となったのも、あの時に特別な計らいで何とか入学を認めて頂いたからで、今も大変感謝しています。家族からも、友人からも変わり者扱いされていますが、長年の夢だった文系の勉強はどれも楽しいものばかりでした。面接授業では、感動とともに忘れられないものが幾つもありました。そして、この5年半を通じて身に染みしたのは「何であれ、系統立ててバランス良く学ぶことの大切さ」でした。…恐縮ですが、卒業は本意ではありません。好奇心と興味の尽きるまで学生を続ける所存です。今後ともよろしくお願い致します。

卒業によせて

【心理と教育コース】 石田 裕子

身の回りの親しい人や職場の同僚などが心の病になるのを見聞きしているうちに、人の心はどうなっているのだろう、援助の方法はあるのだろうかと考えることが多くなりました。そんなとき放送大学の広告を見て、心理学を勉強してみたいと思い始めました。仕事と勉強を両立できるかとか、通信教育を一人で取り組めるか？と思い躊躇しましたが、とりあえず始めてみることにしました。入学してみると、勉強がとて久しぶりだったためか、勉強すること自体が新鮮でしたし、また物事を知ることがこんなに楽しいことだったんだと改めて気づきました。自分でも予想外でしたが通信教育に一人でこつこつ取り組める自分の粘り強い一面を発見することも出来ました。大人になっても知らないことばかりで、もっと色々なことを勉強したいと思うようになりました。今後も引き続き勉強を続けていきたいと思います。

卒業を迎えて

【人間と文化コース】 齋藤 貴智

4年前に編入学し、漸く卒業にこぎ着けられたことは幸運なことであつた。勉学に苦手意識を持っていたが、転職を機に様々な分野の授業科目を選択するようになると向上心も出てきたように感じた。特に面接授業は、会社の会議に1時間と集中してられない私が教授の濃い話を聞くのは苦痛だと考えていたが、土日を費やしての講義を面白く感じたのは愉快的経験であつた。 今後は元々関心のあつた仏教を学びつつ、情報コースに再入学して幅広い分野の学習を継続したい。 放送大学を卒業するにあたり、学業を支えてくれた家族、放送大学関係者の皆様、面接授業でお会いした方々に心から謝意を表します。

生涯学習の場として

【社会と産業コース】 渡邊 昭二

入学したキッカケは、“生涯学習の場”として、妻（既卒業生）に強く奨められたことです。素晴らしい教授陣、学習カリキュラムの豊富さ、全国すべてのセンターでの学習可能など魅力ある充実内容に賛同して入学しました。学生生活の思い出は、関東を初めとして京都・奈良・名古屋など旅行がてら妻と一緒に受けた面接授業、放送大学での基礎学習を基に取得した早稲田大学の学芸員資格、紅白会場であるNHKホールで迎えた最初の卒業式の感動などがあります。そして追記すべきは、会社一辺倒だった人生に、生涯学習という「新たな環境」を得た7年間だったことです。パスカルの言葉に「人間は考える葦である」とあります。これは、人間も葦のように柔軟であれどのような環境であっても諦めない心を持ってと鼓舞し、生涯学習の大切さを述べているのではないかと思います。今回は2回目の卒業ですが、これからも素晴らしい放送大学での学生生活を楽しみたいと思います。最後に、学習センターの事務の方々のサポート、同好会の仲間の励まし並びに諸先生方のご指導に感謝致します。

卒業を迎えて

【人間と文化コース】 大内 由美子

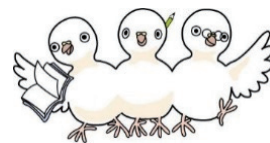
私は14年前に放送大学に入りました。当時ハンディを持つ就園前幼児支援のボランティア活動をしていたことから「発達と教育」を専攻しました。講義についていけるか不安でしたが最新の乳幼児学には学ぶことが多く、驚きと共に楽しみともなりました。また面接授業も全て素晴らしく、先生方に感謝しつつ講義の時間を過ごしました。このときは毎学期多くの単位をとっていたため、科目によっては消化不良のこともあり、次のコースの「人間と文化」では科目数を少なくして進めました。特に後半は一科目にし、試験勉強も初めて丁寧にできました。今後は「生活と福祉コース」に進みますので、また宜しくお願いいたします。

卒業にあたって

【社会と産業コース】 佐久間 亜貴

就職して数年経った頃、資格を取得するのに学士の学歴が必要になりました。最終学歴が短大の英語科だった私は、その時海外で働いていたこともあり、一緒に資格を目指していた先輩を通して放送大学という通信教育大学の存在を知りました。専攻したのは社会と産業コースと短大とは違う学部にもかかわらず単位が思ったより認められたと思ったことを記憶しています。入学したのはよいものの、海外で仕事との両立でしたので試験期間に帰ってこれない時もありました。また普段なら受けられないような一流の先生方の講義を放送大学では履修でき、レベルも高いので通信とはいっても私のケースはほぼ教科書で自学でしたので考えていたよりも難儀しました。そして出産なども重なりあと10単位というところで期限もオーバーしてしまいました。子育てもひと段落し、中途半端にしていた大学のことが心の中でずっと引っかかっていたので、今回の改制で専門科目はほぼ履修済みでも幅広く履修できることになったこともあり再入学を決意しました。得意な外国語の科目を中心に残りの5科目履修し、簡単ではありませんでしたがすべての単位で合格できほっとしました。今回の再入学で感じたことは、今はワカバシステムがあり自身の履修の履歴の確認や過去問のダウンロードが容易にできるので併せて勉強することにより5科目の単位取得が可能だったのでは、と思います。 日本ではまだ資格が重要視されることと多々あると思いますので、最初のきっかけとは程遠くなりましたが、今はこの機会を土台に今後のキャリアを構築しようと考えています。放送大学ではいつでも門戸を開いていてくれるので諦めなければ終わらせることができるということを身をもって実感しました。長い間大変お世話になりありがとうございました。

学 習 奨 励 賞 表 彰



学習への高い志と絶えまぬ努力に、敬意を示し称えとともに、学び得た知識と能力を活かし、生活と人生を豊かにされ、また、社会の発展に貢献されることを祈念し、この度、10月1日(土)、茨城学習センターにて、学習奨励賞の表彰式と懇談会を開催いたしました。表彰は、学部または大学院の3コース(プログラム)以上を卒業・修了された方に行い、卒業・修了されたコース・プログラム数に応じて、学習奨励賞に『神峰賞』『筑波賞』『八溝賞』の愛称名を付しました。

以後、卒業コース(専攻)数または修了プログラム数が、3、4、5回に達した学生を表彰いたします。

卒業または修了回数	愛称名
5回	八溝賞
4回	筑波賞
3回	神峰賞



H28 年度第 1 学期学習奨励賞表彰者

八溝賞	椎名 哲志さん	山本 廣康さん	吉村 政一さん		
筑紫賞	葛貫壮四郎さん	齋藤 保さん	坂井 健司さん	佐藤 和彦さん	立原やい子さん
	松林 恵美さん				
神峰賞	大内 崇敬さん	岡部 幸子さん	影山 稔さん	沢原 久江さん	鈴木 和徳さん
	堀井 信治さん	前島 寿子さん	松本 和雄さん	森井千賀子さん	谷古宇秀雄さん
	山口 文夫さん	山下 信哉さん	黒羽 利夫さん	服部 紳二さん	

学習奨励賞表彰者代表挨拶

神峰賞(自然の理解／人間と文化／社会と産業)

【生活と福祉コース】黒羽 利夫

本棚の放送教材をみていると、様々な授業、先生や、出会った友、通学途中見聞いた事が、薄らいだ記憶の中に甦ってくる。宇宙のすべての物質は、100種類余りの元素でできている。もしかしたらアインシュタインの脳を構成していた元素の一部が、若い皆さんの脳の中に入っているかも知れないというようなことを、面接授業で聞いた。面白かった。基礎化学を学ぶ動機ともなった。この科目は、「自然の理解」を専攻する私には、基礎的知識となり、様々な科目での理解度を深めるのに役立った。「高放射線廃棄物10万年国管理」との新聞記事にびっくり、自然と科学で学んだ持続可能な文明発展の教えからして、どう捉えれば、と考える。今回の受賞をとても嬉しく思うとともに、これからの学びのために、「生活と福祉」に再入学します。

平成28年度第2学期入学者の集い

ご入学おめでとうございます

10月1日(土)、茨城学習センターにて「入学者の集い」と、同窓会による「歓迎茶話会」が執り行われました。「入学者の集い」には、38名が出席し、横沢所長挨拶、客員教授挨拶、学長挨拶(DVD)、入学者代表小林直美様からの決意表明があり、また、歓迎茶話会は、各サークルの紹介や入学者の自己紹介等、大変和やかで貴重な集いとなりました。茨城学習センターでは、第2学期は、学部学生217名、大学院生24名の併せて241名の方々が入学されました。

入学者代表挨拶

【人間と文化コース】 小林 直美

本日は、私達「平成28年度第2学期入学者」のために「入学者の集い」を開催して頂き、厚く御礼申し上げます。

今まで学校・会社という枠組の中での勉強しか知らなかった私が、放送大学を知ったのは3年前、「一緒に入学しよう。」と誘う夫の言葉でした。大学院を卒業し、学会・会社と多忙でも日頃から本を読み博学な人がさらに何かを学ぼうとしていることに驚き、反面私は東京へ転勤・転居後落ち着かず、更年期障害も始まり余裕のない日常生活の流れに任せているだけの自分には無理と諦めました。

その後、一人静かに勉強している後ろ姿、仕事の日と休日を調整して試験を受ける前向きな夫に、改めて尊敬の念を抱くようになりました。大学の教科書・郵便物の受け取り整理、手続きの手伝いと、資料を見たり話を聞いたり、時には教科書を読んだりしていた私は、次第に「知るは人の喜び」という気持ちが湧き上がり、何かを学びたいと思うようになり、一緒に入学しなかったことを後悔するようにもなりました。

「どの教科書も良く出来ていて、わかりやすいよ。一緒に受けられる面接授業もあるはずだよ。」と一人では何も出来ないと迷う心配性の私を後押し。さらに資料やホームページで、専門的教養の先生と素晴らしい教材、時代に適した授業方法を知り、学ぶ意欲を与え、沢山の人が支えてくれるから大丈夫と思うことが出来ました。そして、入学を決め、国語の好きだった私は、選択した「人間と文化コース」で人としての基本的な面と文化的な面、言葉の持つ意味・力など日本語について様々な関連したことを学び、また科学や苦手な数学も夫の助けを借りながら少しずつ学び、教養を広げ、卒業を目指して習得していきたいと考えています。

今回、このご挨拶をお引き受けしてから、学ぼうとしている自分を見つめ直し、学びについて考えました。私達は、学びの前では子供です。何も知らない純粋な子供だと思います。先人に導かれ、師に教えられ、前に進むことが出来ます。今後多くの人から教えられ、色々な面で学ぶでしょう。どうぞよろしくお願い致します。

<入学者の集いの様子>



<入学者代表の挨拶>



<歓迎茶話会の様子>



サークル紹介



平成28年度

パソコンクラブ



勉強会風景(茨城学習センター3階実習室にて)

★活動内容

【活動日：1回/月、原則として第3日曜、7月、1月はお休み】

目的：パソコンを通じて会員相互の親睦と情報技術の向上を図ると共に、生涯学習の普及発展に貢献することを目的としています。

概要：午前中は初級者向け相談会、午後は年度計画で決めたテーマでの勉強会を開催。

最近1,2年の活動内容：午後の勉強会は学生が講師となり次のようなテーマで実施。

- ◇ネット利用で賢く便利な学生生活 ◇スマホ・タブレット ◇SNS ◇Windows10
- ◇放送授業の画面切替 ◇Wordで合成写真作成 ◇無料通話 ◇クラウド・OneNote
- ◇ネット販売の現状 ◇セキュリティ等。お気軽に参加ください。お待ちしております。

★会員数：29名

★会費：1000円/年

★代表者：網谷

ふるさと探勝会



最近の定例会(第64回)

平成28年6月5日

常陸太田市西山荘にて

★活動内容

【活動日：年4回、主に日曜日、日帰り】

豊かな自然と気候風土に恵まれたふるさと茨城やその近隣各県の町や村には貴重な文化財・史跡が数多くあります。永い時を刻んだ歴史遺跡や美しい自然を訪ねるたびに驚きや新しい発見があります。

平成11年10名足らずで発足した会も65回を数えました。毎回40名程が参加され、主に大型バスを利用しています。学ぶ仲間と楽しく語らいながら、魅力ある茨城と近隣の歴史・自然を探勝してみませんか。ご参加をお待ちしております。

(この1年の活動：11月：高萩・北茨城、3月：川越、6月：常陸太田、9月：東京)

★会員数：48名

★会費：2,000円

★代表者：吉村

英会話サークル



先生を中心に

★活動内容

【活動日：毎月第1日曜日13時～15時】

*目的：英語は毎日の生活に欠かせません。楽しみながら、英語感覚を絶やさないようにすることを目的としています。また、会員相互の親睦も大切です。*運営：茨城大学の上田敦子准教授を講師にお招きしています。日本語混りの英語で趣味や経験談をペアで語ったり、いま話題になっているテーマを皆で議論しています。時にはナウい表現や、カッコいい発音の指導もあります。オープンキャンパスではクラスを開放し見学者と一緒に英語ソングを歌います。昨年は「We are the World」を合唱しました。懇親会は講師も交えて年2～3回、とても楽しいDrink & Dinnerです。現在、海外遠征を計画しています！*入会：英語の実力は問いません。学習センター事務室で随時受け付けています。

★会員数：22名

★会費：3,000円(半年1,500円)

★代表者：金子

茨城学習センターでは、現在7つのサークルが活動しています。興味のある方、入会希望の方は、各サークル代表者または学習センター窓口までご連絡ください。

ゴルフサークル

★活動内容

【活動日：第1月曜日】



第50回記念大会
(於：石岡GC)

茨城学習センターの『ゴルフ・サークル』は、10年余りの歴史を有します。他の学習センターには無く、茨城独自のユニークな存在です。ゴルフ・コンペを、毎月の第1月曜日に水戸近辺の様々なゴルフ場にて、3～4組で開催しています。(期末試験の月はお休みです。)ベテランも初心者と一緒に、サークル内で決めたハンディ・キャップに基づき、楽しみながら順位を競っています。水戸周辺では、プレー費用も平日で安く、更に学生優遇で『ゴルフ場利用税』が非課税になります。ゴルフを楽しみながら、学生相互のコミュニケーションを持つ絶好の機会です。

初心者からベテランの方々、興味のある方は是非ご参加下さい。

★会員数：31名

★会費：月500円

★代表者：石川

数学共楽会 (The Society of Enjoyable Mathematics) HP: <https://sites.google.com/a/yokappe.net/mathematics310/>

★活動内容

【活動日：月1回(HPで紹介します)】



『R統計学』ご指導の塩見先生
(前列右2人目)とメンバー

◆体験入会歓迎：申込は事務室へ

2004年スタートの塩見先生ご指導による統計学のメンバーが中心となり、**数学の初歩を共に楽しく学ぶ**ための「数学共楽会」が2008年10月に発足しました。その後、奥達雄先生にも解析学を中心にご指導をいただき、2つのゼミと4つの勉強会から成る6つのグループで活動しております。特に2016年度は発足時の理念に基づき、『**初歩からの数学**』を再開しました。

- (1)『**初歩からの数学**』：高校数学から大学数学への橋渡しをゆっくり勉強します(幹事：山下)
- (2)塩見ゼミ：実用の統計学：①印刷教材「統計学」②言語Rのマスタ(幹事：石黒・須藤)
- (3)奥ゼミ：印刷教材「解析入門」をベースにした解析学の研究(幹事：山下)
- (4)『R統計学』：統計言語Rによる統計学を学ぶ(御指導 塩見先生・幹事：石井)
- (5)『Strang』：MIT・Strang先生のIntroduction to Linear Algebraの輪読(幹事：山口)
- (6)SIG(和算の数学)：神社仏閣に奉納された算額の見学(幹事：山口)

★会員数：24名

★会費：無料

★代表者：山口

香り文化サークル

★活動内容

【活動日：基本毎月第四土曜日】



2016年2月27日村松晴嵐

我がサークルでは、日本の香り文化を中心としながらも、多岐に亘って広く香り文化を探究しています。

世界の香りに注目して、例えば、ウズベキスタンの乳香・イギリス紅茶の香り比較、フランスにおけるアロマテラピー等について学びました。

そして日本では、王朝文化伝統の薫物(たきもの)について研究して再現したり、江戸時代の“香り文献”を読んだり、水戸の香り文化を求めて弘道館を尋ねたりしました。

特に、昨年度は、水戸の香り探究を発展させて、水戸八景巡りも実施しました。

★会員数：12名

★会費：年会費3,000円

★代表者：黒澤

サークル紹介

茨城学習センターでは、現在7つのサークルが活動しています。興味のある方、入会希望の方は、各サークル代表者または学習センター窓口までご連絡ください。

未来環境クラブ



あなたはこのかけがえのない地球を守るために、どんな活動をしていますか？

★活動内容

【活動日：毎月1回、但し1・7月は試験期間のため活動中止】

我々は学生として持続可能社会の将来を展望し、これからの「地球温暖化防止」の一環として、自然エネルギーを学んでいます。

将来の低炭素社会実現のための学習会や自然エネルギー等の施設見学会として「茨城県次世代エネルギーパーク」の33施設の研修・見学会を行っております。

次世代エネルギーの最先端の研究・再生可能エネルギー開発・工業地帯の企業活動等の各施設を見学しています。(ハチドリ物語)

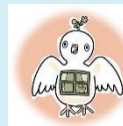
是非、学生の皆様ふるってご参加ください。

★会員数：16名

★会費：無料

★代表者：川村

茨城学習センター活動報告



大分学習センターへ



熊本学習センターへ



同窓会・学生の皆さま



H28 年度熊本・大分地震により被災された皆さまに、謹んでお見舞い申し上げます。被災された現地の方々へ、応援メッセージとともに支援を目的とした募金活動を実施いたしました。皆さまより心温まるご支援頂戴いたしましたこと、厚くお礼申し上げます。お預かりした募金はすべて日本赤十字を通じ、現地での復興活動の支援にあてられます。

いはらき看護の祭典

第52回いはらき看護の祭典に、まなびーがやってきました。看護協会の皆様や専門学校の学生さんに、放送大学の素晴らしさをPRし、他にきていたマスコットたちと仲良く祭典を盛り上げました。



修士論文・卒業研究発表会

9月4日(日)茨城学習センター3F 第三講義室にて、修士論文・卒業研究発表会が開催されました。修士論文を「宍塚大池を水源とする農業水路の魚類の種多様性とそれに影響する要因」と題して、福井正人さんが、卒業論文を「職場風土に関する文献研究」と題し、五らい久美子さんが発表し、参加者の皆様は熱心に聴講されました。



◆ご案内◆

茨城大学入構規制のお知らせ

※自動車の入構規制が行われます。確認のうえ、ご来場ください。

11月12日(土)・13日(日)	茨苑祭(大学祭)
11月26日(土)	推薦入試



当センターは閉所日

学生論集『茨城 SC フォーラム』への寄稿を！

学生論集『茨城 SC フォーラム』は、学生の研究論文、調査報告、技術問題などの解説、先生方や学生の随筆などを掲載することにより、茨城学習センターにおける知的交流の場を提供することを目的として、毎年3月に発行しています。つきましては、寄稿者を募集いたしますので奮ってご応募ください。

募集期限：2016年11月30日(水)まで

応募方法：「エントリー・シート」により応募する。(茨城学習センターHPよりダウンロードできます。)

投稿者の決定：2016年12月中旬

原稿提出期限：2017年 1月下旬

提出先(郵送)：放送大学茨城学習センター『茨城 SC フォーラム係』宛〒310-0056 茨城県水戸市文京 2-1-1 (茨城大学構内)

教員・学生講演会開催のお知らせ

放送大学への理解を深めていただくため、教員、放送大学生、同窓生が講師となり、講演会を開催します。(入場無料 ・ 定員160名)

開催日時：2016年12月 4日(日) 13:00~16:00

開催場所：茨城県立図書館 水戸市三の丸1-5-38

お問合せ：放送大学 茨城学習センター 電話番号：029-228-0683



第22回所長杯争奪！ボウリング大会のご案内

単位認定試験も終了し、次学期に向けて充電期間の時期に思う存分汗を流しましょう！

マイボール・マイシューズをお持ちの方は是非ご持参ください！！

開催日時：2017年2月4日(土) 16時40分～

(16時30分までにご来場ください)

開催場所：水戸グリーンボウル 水戸市新原 2-1-37 TEL029-253-4439

参加費用：1,000円

受付開始：平成29年1月10日(火)～平成29年1月25日(水)

(連絡先：放送大学茨城学習センターTEL029-228-0683)



■事務室からのお知らせ■

各種証明書の発行について

各種証明書をご希望の方は『学生生活の葉』学部 P. 104～、大学院 P. 89～を参照のうえ、以下の点に注意し申請してください

◎発行手数料：●1通につき200円

◎郵送での申請：●返信用封筒 長形3号 120mm×235mm【定型】（切手貼付・宛名明記）を同封してください。

（参考：返信用切手 証明書1通→82円 2通→92円）

●「諸証明書交付願」

●手数料は、郵便小為替又は現金書留にてご郵送ください。（切手では受理できませんのでご注意ください。）

◎発行日数：証明書の種類によって、発行に2週間程度かかるものがあります。

発行日数を考慮し、余裕を持って申請してください。

※現在教員免許状を持っている方で、上位又は他教科の教員免許状等を申請する場合は、『教員免許状申請用証明書』と記入されている「諸証明書交付願」（様式10）で申請してください。

（「諸証明書交付願」の様式は2種類ありますので、間違いないよう注意してください！）

「学生旅客運賃割引証（学割証等）」の発行について

全科履修生及び修士全生は、自宅から学習センター又は大学本部に通学する場合や、面接授業の受講（登録確認後）及び単位認定試験の受験等において学生旅客運賃割引証（学割証等）の交付を受けることができます。

（※個人的な用務等の利用は認められませんのでご注意ください。）

また、教養学部卒業研究や大学院修士全生が研究指導のために移動する場合等につきましては指導教員から指示（許可）があったことを示す書類が必要です。（詳細につきましては「学生生活の葉」をご参照ください。）

※茨城学習センターにおいては、利用可能な交通機関は【JR・私鉄等（鹿島臨海鉄道・つくばエクスプレス）】です。

茨城学習センター職員異動のお知らせ



お世話になりました 平成28年9月に退職しました

退職挨拶

学務主任 **ながやま まさひろ**
長山 正宏

「放送大学」、時間とお金に余裕のある方が趣味の延長として学ぶ通信制の大学だろう。2年半前、茨城学習センターでの勤務は、その様な認識で始まりました。ところが1カ月もたたないうちに、私の認識は完全に覆されました。多様な科目群や科目数のみならず、指導にたずさわるそうそうたる多くの教授陣、システマティックな組織が学生を支えています。しかし、最大の理由はそうしたハード面よりも、老若男女を問わず多種多様な職種の学生、多種多様な学習のきっかけと目的をもった学生が、真剣に学習している実態を目の当たりにしたことです。ここは半端じゃない、間違いなく本当（それ以上）の大学だと認識を新たにしました。ここに紙面をお借りし、当初の認識をお詫びし撤回いたします。たいへん失礼いたしました。私は、新たな職場に移ろうとしています。その勇気を与えてくれたのが放送大学で学ぶ皆さんでした。どんな困難に会おうとも、茨城学習センターの皆さんの笑顔と真剣なまなざしが私を強くしてくれることを確信しています。あっという間に過ぎ去った2年半という短い期間でしたが、本当にありがとうございました。皆様の益々のご活躍とご健康をご祈念いたします。

新任挨拶

学務主任 **いそ ひろみ**
磯 博美



10月1日付で学務主任として茨城学習センターに勤務することになりました。今までと全く違う職種のため、分からないことや戸惑うことも多いと思いますが、早く仕事に慣れて、生涯学習やスキルアップに向けて、一人一人のライフスタイルに合わせて学習できる放送大学のよさを伝えていけるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

視聴学習・図書室からのお知らせ



利用時間



★閉所日については『利用の手引き』 平成 28 年度スケジュールをご覧ください★

単位認定試験実施期間中 1月20日(金)～1月29日(日)	火～日	9:00 ～ 19:00
単位認定試験期間以外	火～金	9:30 ～ 18:00
	土・日	9:00 ～ 17:30

放送教材の室外貸出停止期間について

◎単位認定試験開始 1 週間前から終了までの間（学部：1/17～1/29，大学院 1/13～1/21）

◎各学期末 2 週間（視聴学習・図書室整備のため）（H28 年度第 2 学期：3/18～3/31）

郵送（第 4 種郵便）・宅配による室外貸出について

- * 郵送・宅配の送料等はすべて申込者（学生）負担となります。
- * 郵送は「第 4 種郵便」で、宅配は「着払い」で発送いたします。
- * DVD 等の内容を変更、複製、又は第三者に譲渡・貸与しないでください。

【貸出手順】

- ①「放送教材貸出申込書(郵送用・宅配)」「学生証のコピー」を学習センターへ送付。
 - ・郵送の場合は、送料分の切手を同封して普通郵便でお申込みください。FAX 不可。
(送料分切手 DVD・CD 1・2 巻 25 円、3 巻 35 円)
 - ・宅配の場合は、FAX または普通郵便でお申し込みください。
- ②当センターから放送教材発送
- ③視聴後は当センターからお送りした封筒と緩衝材をご利用いただき「放送教材貸出票」を添えて、返却期限までにセンターに到着するようにしてください。

【申込書ダウンロード】<http://www.sc.ouj.ac.jp/center/ibaraki/> →各種手続き

【郵送先】〒310-0056 水戸市文京 2-1-1 (茨城大学構内)

【FAX】029-228-0685 放送大学茨城学習センター 宛



◎履修している科目の主任講師推薦図書について、受付カウンターへお問い合わせください。

◎本部に所蔵していないが学習に不可欠で、購入を希望する図書がありましたら、付属図書館にリクエストすることができます。

◎電子ブック・電子ジャーナルについて、放送大学付属図書館HPで検索できます。茨城学習センター視聴学習・図書室の学生用パソコンでも検索できます。

今後のスケジュール

10 月



1 日(土)
"
2 日(日)
8 日(土)
9 日(日)
10 日(月)
14 日(金)
15 日(土)
15 日(土)・16 日(日)
15 日(土)・16 日(日)
15 日(土)・22 日(土)・29 日(土)
22 日(土)・23 日(日)
22 日(土)・29 日(土)
30 日(日)

第 2 学期放送授業開始
学位記授与・学習奨励賞表彰式、入学者の集い
大学院入試(修士・博士全科生)筆記試験
ライブラリー講演会(大島 一芳 先生)
オープンキャンパス・学園祭
体育の日(閉所日)
単位認定試験課題提出期限(司書)
第 2 学期面接授業開始・追加登録空席発表
面接授業「フランス文学入門」
面接授業「日本とアメリカ：愛憎の交流史」
面接授業「初歩からのパソコン」
面接授業「臨床心理学演習」
面接授業「初級英語」
臨時閉所日

11 月



1 日(火)
3 日(木)
5 日(土)
5 日(土)・6 日(日)
5 日(土)・6 日(日)
6 日(日)
16 日(水)
19 日(土)
19 日(土)・20 日(日)
19 日(土)・20 日(日)
23 日(水)
26 日(土)
30 日(水)
"

教員免許更新講習〔冬期〕受付開始(～11/30)
文化の日(閉所日)
面接授業「初歩からのパソコン」
面接授業「心理学実験 3」
面接授業「並列分散システム入門」
学生研修旅行
第 2 学期通信指導提出開始(学部・大学院～11/30)
ライブラリー講演会(佐々木 寛司 先生)
面接授業「やさしい地震学」
面接授業「西洋美術の名画を読み解く」
勤労感謝の日(閉所日)
臨時閉所日
第 2 学期通信指導提出期限(学部・大学院)
教員免許更新講習〔冬期〕受付終了

12 月



1 日(木)
"
3 日(土)・4 日(日)
3 日(土)・4 日(日)
3 日(土)・10 日(土)
4 日(日)
10 日(土)・11 日(日)
10 日(土)・11 日(日)
17 日(土)
17 日(土)・24 日(土)
17 日(土)・18 日(日)
18 日(日)・25 日(日)
23 日(金)
24 日(土)・25 日(日)
29 日(木)～31 日(土)

平成 29 年度第 1 学期募集要項配布開始
出願受付開始(第 1 回～2/28)
面接授業「地域経済と地域間格差」
面接授業「心理学実験 2」
面接授業「火山の噴火と減災」
教員・学生講演会
面接授業「臨床医学入門」
面接授業「基礎からわかるデジカメ画像処理」
ライブラリー講演会(清水 淳 先生)
面接授業「がん看護入門」
面接授業「近世・近代史料購読入門」
面接授業「日本近世小説の世界」
天皇誕生日(閉所日)
面接授業「茨城県の宝 - 霞ヶ浦の水環境科学」
年末年始休日

茨城学習センター機関誌

【名前の由来】

「ひとつひとつじっくりじっくりかみしめながら勉学に励む」という意味を込めて
機関誌創刊当時の学生さんが名付けてくださいました。

ふむふむ

